

2007年6月14日

関西学院大学学生課

全学休校の解除に伴う課外活動停止の解除について（お知らせ）

麻疹（はしか）の感染拡大を防ぐため、本学では6月2日（土）から6月15日（金）まで全学休校としてきましたが、6月16日（土）から全授業科目休講措置を解除します。これに伴い、クラブ・サークル活動についても活動停止を解除します。

なお、今後とも、以下のことに留意してください。

- （1）風邪症状、発熱（37.5度以上）に続いて発疹があらわれるのが麻疹（はしか）の経過です。風邪症状37.5度以上の発熱がある場合には活動を控え、もよりの医療機関で受診してください（1）。
なお、麻疹であれば、この時期より感染力があるため、医療機関受診以外は、人との接触を避けてください。また、幼少期にワクチンを接種している人は、風邪、発熱などの症状が軽度でも、発疹が急速に出現することがありますので、この場合も活動を控え、もよりの医療機関で受診してください。
- （2）また、医療機関において、「麻疹」「麻疹の疑いがある」とされた場合には、本学保健館および学部事務室に電話で連絡して、解熱後3日間を経過するまでは、活動を控えてください。
保健館連絡先（上ヶ原0798-54-6023 神戸三田079-565-9045）
- （3）麻疹にかかったことがなく、麻疹ワクチンの接種を1度も受けていない人は、免疫力がないので至急麻疹ワクチンまたはMRワクチンの接種を受けることをおすすめします。
これまでに1回接種している人は、医療環境が許せば、抗体検査あるいは2回目のワクチン接種を受けることをおすすめします。

なお、この措置は春学期中の措置とします。今後、状況が変われば、また連絡しますので、ホームページ上の麻疹情報に注意してください。

以上

（1）受診時の注意

受診の際は、他の人にうつす可能性がありますので、事前に電話で病院に連絡し、指示を受けてください。公共交通機関をなるべく使用せず、マスクなどを着用して受診してください。

【参考：麻疹の一般的な症状】

- 1）感染後10～12日後（潜伏期間）して、発熱、咳、鼻水、結膜炎などが出現する（カタル期）。
- 2）発熱してから2～4日ごろ、一度熱が下がる。
- 3）約半日～1日後に再び高熱が出て顔や体に紅い発疹が出現。咳、鼻水、結膜炎等が増悪（発疹期）。
- 4）2度目の熱は、4～5日ほどで下がり、発疹の色も褪せてくる（回復期）。